

# 学校支援活動

この一年を振り返って！

協育コーディネーター

岩尾純子

コミュニケーションスクールとして  
て玖珠中学校が発足して四年  
・塚脇小学校は二年が小田小  
学校は一年が経過しました。  
コミュニケーションになった  
でも特別に何かが変わるわけ  
ではないことは、この紙面を  
お借りして説明させて頂きま  
しました。しかし大きく変わる  
ことは各学校で運営協議会が  
発足し、学校の経営方針や教  
育方針まで深く地域の方も含  
めて話し合われます。反省も  
し、修正もしていきます。そ  
のような協議会に関わる中で、  
より児童に、生徒に地域の力  
を活用する方法はないかと知  
恵を出していくのが私、協育  
コーディネーターの役目だと認  
識しています。この一年を振  
りかえることにより、より多  
くの地域の方たちに、『これ  
なら私にもできる！』『学校  
はこんなに地域に開かれてき  
たのか：！』と実感して頂  
けたら嬉しいです。

## 三校の年間行事

玖珠中学校では◎緑のカーテ  
ン作り◎盆踊りの指導(運動会)  
◎女子バレーの放課後指導 ◎  
陸上部の放課後指導 ◎職場体  
験学習 ◎男女共同参画プラン  
について ◎強歩大会のサポー  
ト(沿道・炊き出し)など地域  
の方たちの惜しみない支援のお  
陰で実り多い行事をこなせまし  
た。  
玖珠中学校の『教育目標はあた  
りまえのことを、あたりまえに  
できる生徒の育成』とし、宗岡  
校長は栄光の一年だったとま  
めました。その心はとお聞きし  
たら、星空の街全国大会IN玖  
珠での発表を高円宮妃殿下も高  
く評価して頂くなど立派にやり  
遂げたこと(私も感動して涙が  
出ました)、全国都道府県対抗  
駅伝に代表選手として参加でき  
たこと学力においても全国トッ  
プに並ぶ頑張りを挙げていた  
きました。勿論来年度もまた、  
地域の方たちに見守られながら  
頑張ってくれること請け合  
います。

強歩大会炊き出し



小田小学校は☆梅干しづくり  
◎田植え ◎盆踊り ◎稲刈り  
◎玖珠の地理・歴史(角理山か  
ら)の学習 ◎郷土料理作り  
◎餅つきなど小規模校が故の利  
点を活かして、全校で取り組  
みました。勿論この他に地域の行  
事に積極参加も小田つ子と地域  
をつなぐ大きな接点です。上級  
生が下級生を自然と指導し、助  
けてあげる様は何度見てもほ  
えましく感じます。小田小の教  
育目標はへふるさと小田を愛し、  
夢と目標の実現に向け、全力を  
つくし合う児童の育成とあり  
ます。小野校長は学習・運動・  
思いやりや地域での活動も含め  
て子どもたちも教職員もとにか  
く『全力をつくす』を全力で取  
り組んできたと胸を張って話さ  
れていました。く大人も子ども  
も小田の中では誰でも挨拶

くを徹底し、相手を思いやる言  
葉使いにも力を入れ、100%の児  
童が学校が楽しいと言っている  
す。中学校に行っても臆するこ  
となく、頑張っている先輩たち  
に続けと応援しています。

田植えの様子



塚脇小学校は◎登下校の指導  
◎種まき(米)体験 ◎水泳の  
監視 ◎地蔵講の歴史の学習  
◎田植え ◎塚脇祇園の歴史  
◎風景画の描き方 ◎稲刈り  
◎昔の道具と人々のくらし等多  
岐にわたり地域の力を知恵をお  
借りしました。昔使っていた生  
活雑貨や農業の道具を学校に持  
ち込んでの授業、七輪で杉の枝  
を使つての火起こし、豆を炒つ  
たり、餅を焼いたり、その時の  
子どもたちの嬉しそうな顔は格  
別でした。学校からのお便りに  
多くの家庭から七輪が持ち込ま  
れました。きっと、おうちに帰っ  
てから、火を起こせたことの喜  
びの報告があったことでしょう。  
塚脇の教育目標は

へ自ら学び考え行動する子ども  
の育成くつなげよう 考えよう  
きたえよう。そしてわになろう  
としました。その中でも、キー  
ワードはつなげる・つながるだ  
と金粕校長は強調されています。  
縦には学年間でつなげ、横には  
学校、PTA、地域とつながつ  
てこそ学校の機能を発揮すると。  
今年度は学校の様子を地域の方  
たちにも分って頂けるよう、工  
夫したいと力強くおっしゃって  
おられます。

火おこし体験



三校とも、あたりまえのことが  
できる子に、全力をつくす、つ  
なげていくことを再確認し、又  
本年度も地域の皆で応援しまし

子ども達を  
地域で育てよう

